

1・2 部	2 年次	通 年	地理総合	履修形態	全員履修
				履修単位	2
科目の目標				教科書	707：高校生の地理総合
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				副教材等	新詳高等地図（帝国書院）
				履修条件	

授業計画(学習内容、単元の目標・ねらい)					
期	月	学習内容(単元)	単元の目標・ねらい		
前①	4・5	世界の気候と人々の生活	知識・技能	世界の気候の広がりや、気候と人々の生活が深く関わり合っていることについて理解する。	
			思考・判断・表現	衣食住に着目しながら、世界の気候がどのような広がりをしているのかや、気候と人々の生活がどのように関わり合っているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	
			主体的に学習に取り組む態度	気候と深く関わり合いながら人々が生活を築いてきたことについて、衣食住を手がかりに主体的に追究し、課題を見いだす。	
前②	6・7	世界の産業と人々の生活 多様な生活文化と地理的環境	知識・技能	農業の国際化や工業技術の発達、世界の人々の生活に影響を与えてきたことについて理解する。	
			思考・判断・表現	自らの生活をイメージしながら、農業の国際化や工業技術の発達、世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	
			主体的に学習に取り組む態度	産業の発展が、自らの食生活だけでなく世界の人々の生活も変えてきたことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	
後①	9・10・11	経済発展による生活文化の変化 -東アジア-	知識・技能	経済発展に伴う中国の都市化によって、人々の生活が変化してきたことについて理解する。	
			思考・判断・表現	都市化が進んだ地域とそうでない地域があることに着目しながら、経済発展がそれぞれの地域で人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	
			主体的に学習に取り組む態度	都市化の進展度合いの地域的差異や、そのことによって生じる経済格差の問題と対策について、主体的に追究し、課題を見いだす。	
後②	12・1・2	地球的課題と国際協力	知識・技能	地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解する。	
			思考・判断・表現	地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	
			主体的に学習に取り組む態度	持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。	

評価規準(「おおむね満足できる(B)」と判断できる状況)				
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価のポイント	前①	熱帯、乾燥帯、亜寒帯、寒帯、温帯の気候の特徴と人々の生活について基本的な用語を理解している。	熱帯、乾燥帯、亜寒帯、寒帯、温帯について、衣食住に着目して、それぞれの生活の特徴と文化について自分の言葉で表現している。	熱帯、乾燥帯、亜寒帯、寒帯、温帯の気候の特徴と人々の生活について、他者の意見も参考にしながら学習に取り組んでいる。
	前②	世界の産業の発達が生活文化にどのような影響を与えたかについて基礎的な用語を理解している。	世界の産業の発達と生活文化の関係性について、自分の言葉で表現している。	世界の産業の発達が生活文化にどのような影響を与えたかについて、他者の意見も参考にしながら学習に取り組んでいる。
	後①	急激に経済発展する中国の地理的事象と経済政策、経済問題について、基本的な用語を理解している。	中国の経済政策、経済問題について、地理的事象と関連させながら自分の言葉で表現している。	急激に経済発展する中国の地理的事象と経済政策、経済問題について、他者の意見も参考にしながら学習に取り組んでいる。
	後②	地球規模の課題が起きている場所や要因について、基本的な用語を理解している。	地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、自分の言葉で表現している。	地球規模の課題が起きている場所や要因について、他者の意見も参考にしながら学習に取り組んでいる。
評価の場面		定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 ワークや演習問題での取組 授業内容に基づく技能の実践	定期考査・小テスト 授業中の発言や発表内容 グループワークでの取組 作品の制作や表現	ノート（レポート）の記述 授業中の発言や発表内容 授業態度や取組む姿勢 自己評価や相互評価